

三井住友海上火災保険株式会社

広報部 〒101-8011 東京都千代田区神田駿河台 3-9
TEL: 03-3259-3111(代表)
www.ms-ins.com

2017年1月24日

～企業が語るいきものがたりPart10～

企業と生物多様性に関するシンポジウムを開催

MS&ADインシュアランスグループの三井住友海上火災保険株式会社（社長：原典之）は、3月7日に、企業と生物多様性に関するシンポジウム「企業が語るいきものがたりPart10」を開催します。

本シンポジウムを開始した2007年当時と比べ、生物多様性を巡る国際情勢は大きく変化しています。加えて、愛知目標のターゲットイヤーであり、東京オリンピック・パラリンピックが開催される2020年に向けては、生物多様性の保全を図りつつ新たな価値を創造することが求められています。そこで、10回目となる今回は、2020年とその10年後の2030年を見据えて、生物多様性の保全において企業が果たすべき役割や期待される行動について考えていきます。また、企業の関心が高い「次世代の価値を創造する自然資本」「グリーンエコノミーを支える都市のあり方」「グリーンレジリエンス」をテーマに、3つの分科会を用意しました。

シンポジウムの概要

- 主催：三井住友海上火災保険株式会社
- 後援：環境省、東京都、経団連自然保護協議会
- 特別協力：一般社団法人 企業と生物多様性イニシアティブ（JBIB）、株式会社インターリスク総研
- 日時：2017年3月7日（火） 13:30～17:30
- 場所：三井住友海上 駿河台ビル 1階大ホール（千代田区神田駿河台3-9）
- プログラム：

＜第1部＞（13:40～14:55）

行政、経営トップの立場から、生物多様性保全と新たな価値創造に向けた取り組みについて

- ・COP13の成果・課題も踏まえ、行政としてどう取り組み、企業に何を期待するか（環境省）
- ・都市開発の観点も含めた土地利用について（森ビル）
- ・持続可能な原材料調達等について（花王）

＜第2部＞企業の具体的な取り組みに関する3つの分科会（15:10～16:40）

	分科会1	分科会2	分科会3
テーマ	次世代の価値を創造する 自然資本	グリーンエコノミーを 支える都市のあり方	グリーンレジリエンス
内容	自然資本を上手に活用し、単なる原材料の提供にとどまらない、新しい価値をいかにして創り出すことができるかを議論します。	自然資本の保全と循環型経済の実現により、都市の価値を向上させる世界的な競争の中で、日本と東京がいかにしてそれを実践・発信すべきかを議論します。	グリーンレジリエンスを社会に実装し、安心・安全で持続可能な地域づくりを推進するための「産官学金労言」の連携について議論します。

＜第3部＞分科会のまとめ（16:55～17:30）

- 参加費：無料
- 定員：200名（先着順）
- 締切日：2月27日（月）必着
- 問合せ先：三井住友海上火災保険株式会社 総務部 地球環境・社会貢献室（唐澤・秋葉）
TEL：03-5117-0202 E-mail：kankyokoken@ms-ins.net

添付別紙：企業が語るいきものがたりPart10ご案内

以上

サステイナブルな未来のために企業が果たす生物多様性保全 ～COP13から2020,そして2030年を見据え～

2017年3月7日(火) 13:30～17:30 (開場13:00～)
三井住友海上 駿河台ビル 1階大ホール (千代田区神田駿河台3-9)

■ 開催主旨

三井住友海上が主催する本シンポジウムは、企業が生物多様性の取り組みを推進していくための機会として、2007年から毎年開催し、ご好評いただいております。

本シンポジウムを開始した2007年当時と比べ、生物多様性を巡る国際情勢は大きく変化しています。加えて、愛知目標のターゲットイヤーであり、東京オリンピック・パラリンピックが開催される2020年に向けては、生物多様性の保全を図りつつ新たな価値を創造することが求められています。そこで、10回目となる今回は、SDGs・自然資本などの最新の動向とCOP13の成果・課題等を踏まえ、2020年とその10年後の2030年を見据えて、生物多様性の保全において企業が果たすべき役割や期待される行動について考えていきます。また、企業の関心が高い「次世代の価値を創造する自然資本」「グリーンエコノミーを支える都市のあり方」「グリーンレジリエンス」をテーマに、3つの分科会を用意しました。本シンポジウムが皆さまの生物多様性保全の取り組みにお役に立つことができれば幸いです。

■ **プログラム** 開会13:30 閉会17:30

※都合によりプログラムを変更する場合があります。

第一部 (13:40～14:55)

行政・経営トップの立場から、生物多様性保全と新たな価値創造に向けた取り組みについて

○行政の立場から

- ・COP13の成果・課題も踏まえ、行政としてどう取り組み、企業に何を期待するか

(環境省 自然環境計画課長 奥田直久氏)

○企業経営の立場から

- ・都市開発の観点も含めた土地利用について
- ・持続可能な原材料調達等について

(森ビル 副社長 森浩生氏)

(花王 執行役員 田中秀輝氏)

第二部 (15:10～16:40)

個別テーマごとの分科会を行います。関心のあるテーマの分科会にご参加下さい。

	分科会 1	分科会 2	分科会 3
テーマ	次世代の価値を創造する 自然資本	グリーンエコノミーを 支える都市のあり方	グリーンレジリエンス
コーディネーター	レスポンスアビリティ 足立氏	ヴォンエルフ 平松氏	インターリスク総研 原口氏
パネリスト	エーゼロ 牧氏 MS&ADホールディングス 浦嶋氏 住友林業 飯塚氏 フルッタフルッタ 長澤氏	国土交通省 町田氏 土地利用WG・ABINC 三輪氏 大和総研 河口氏 東京大学 村山氏 日本郵政 似内氏	東北大学 中静氏 環境省 岡野氏 国土緑化推進機構 木俣氏 JBIB水と生態系WG 能勢氏 鈴三材木店 鈴木氏
内容	自然資本を上手に活用し、単なる原材料の提供にとどまらない、新しい価値をいかにして創り出すことができるかを議論します。	自然資本の保全と循環型経済の実現により、都市の価値を向上させる世界的な競争の中で、日本と東京がいかにしてそれを実践・発信すべきかを議論します。	グリーンレジリエンスを社会に実装し、安心・安全で持続可能な地域づくりを推進するための「産官学金労言」の連携について議論します。

第三部 (16:55～17:30)

コーディネーター：レスポンスアビリティ代表取締役 足立 直樹氏

■ 開催概要

- 【日時】 2017年3月7日（火） 13:30～17:30（開場13:00～）
【会場】 三井住友海上 駿河台ビル 1階大ホール（千代田区神田駿河台3-9）
最寄駅：JR「御茶ノ水駅」徒歩5分、千代田線「新御茶ノ水駅」・都営新宿線「小川町駅」
B3b 出口徒歩30秒、丸の内線「御茶ノ水駅」徒歩6分
地図：http://www.ms-ins.com/company/aboutus/outline/map_surugadai.html
※ご来場の際は公共交通機関をご利用いただきますよう、ご協力をお願いいたします。
- 【定員】 200名（応募者多数の場合は先着順。お申し込みの方には参加可否のご返信をメールお送りします）
- 【対象者】 ・企業のCSR・環境部門、事業部門、調達部門、総務・不動産部門の方など
・生物多様性に関係した活動をされている企業・NGO/NPO・行政の方
・生物多様性に興味を持たれている一般の方
- 【参加費】 無料
- 【主催】 三井住友海上火災保険株式会社
- 【後援】 環境省、東京都、千代田区、経団連自然保護協議会
- 【特別協力】 企業と生物多様性イニシアティブ（JBIB）、株式会社インターリスク総研

本シンポジウムは、国内で生物多様性保全に関心の高い企業（現在50社）の集まりである「企業と生物多様性イニシアティブ（JBIB）」の全面的なご協力のもと企画運営しています。

■ お申込方法

- 以下URLからお申し込みください。
<https://ms-seminar.smktg.jp/public/seminar/view/632>
三井住友海上TOP > セミナー情報 > セミナー一覧「企業が語るいきものがたり」> 申込
- ネット環境のない方は、以下お問合せ連絡先まで、お電話にてお申し込みください。
- 申込締切 2月27日（月）
※お申込みが定員（200名）を超過した場合は先着順とさせていただきます。
※第二部では会場等の都合でご希望の分科会に参加できない場合もございます。予めご了承ください。

参加申込時にお預かりした個人情報につきましては、弊社の情報管理規程等に基づき、安全かつ適正に管理させていただきます。

お問合わせ
連絡先

三井住友海上火災保険株式会社総務部地球環境・社会貢献室
「生物多様性シンポジウム」事務局（担当：唐澤、秋葉）行
E-mail：kankyokoken@ms-ins.net（TEL：03-5117-0202）

